

## 第7回日本EMDR学会総会資料

平成24年5月18日(金)12:10-13:10

三宮研修センター505会議室

1. 開会
2. 総会成立の確認  
出席者 364名 内 委任状(250)名  
欠席者 0名  
計364名(全正会員 855名のうち5分の1出席確認)
3. 理事長挨拶
4. 議長団選出
5. 議事 審議事項
  - (1) 1号議案、平成23年度事業報告(資料1参照)
  - (2) 2号議案、平成23年度決算報告(資料2, 3参照)
  - (3) 3号議案、平成24年度事業計画(資料4参照)
  - (4) 4号議案 平成24年度予算案(資料5参照)
6. 報告事項
  - (1) Japan-HAPについて
  - (2) 編集委員会から(第4号発刊についての報告、投稿の呼びかけ)
  - (3) その他(裏面参照)
7. 閉会

## 日本EMDR学会 役員組織

### 第4期 理事:2011～2013年

1. 理事長: 市井雅哉
2. 副理事長: 菊池安希子
  
3. 理事及び委員会組織: ([ ] 内 は理事以外の協力委員)
  - 1) 事務局 :市井雅哉, 海野千畝子, 北村雅子
  
  - 2) 編集(学会誌) :福井至, 小林正幸, 市井雅哉, 幸田有史,  
[ 沢宮容子, 國吉和子, 紀平省悟 ]
  
  - 3) 編集(マニュアル): 菊池安希子, [ 大澤智子 ]
  
  - 4) 研修(トレーニング・地域研修・学術大会プログラム委員会構成)  
太田茂行,小林正幸
  
  - 5) 広報(HP 関連): 本多正道 [秋田有紀子, 大塚美菜子]
  
  - 6) 広報(ニューズレター関連): 上田英一郎
  
  - 7) 倫理: 菊池安希子, 幸田有史
  
  - 8) 将来構想: 福井義一, 竹内伸, 仁木啓介, 北村雅子
  
  - 9) 資格制度・資格認定ワーキンググループ: 市井雅哉, 本多正道
  
  - 10). J-HAP: 市井雅哉, 白川美也子, 近藤千加子, 北村雅子, 仁木啓介  
小林正幸 [ 新井陽子]
  
4. 監事: 杉山登志郎, 原田憲明

# 1号議案資料

1号議案、平成23年度事業報告(2010.10-2011.9)

資料1

- 1) 学術大会の開催報告  
第6回大会の開催(飯田橋レインボービル 2011.5.13) 181名実績
- 2) 研修会の開催報告  
Part 1 トレーニング東京、戸山サンライズ (2010.10.1-3) 72名実績  
Part 1 トレーニング神戸、三宮研修センター (2011.2.18-20) 54名実績  
Part 1 トレーニング山形、遊学館 (2011.8.5-7) 74名実績
- 3) 継続研修会の開催報告  
震災のWS開催 飯田橋レインボービル (2011.5.14) 176名 実績  
山形テルサ (2011.8.8) 49名 実績
- 4) 地方研究会の補助(今回限り)  
補助金の支出(熱海 2010.12.4-5)  
電話コンサルテーションへの補助(システム使用料負担)
- 5) 研修会の認定について  
EMDR Institute のトレーニング  
EMDRIA 認定トレーナー市井によるトレーニング(大学院コース)
- 6) ニュースレターの発刊報告  
日本 EMDR 学会ニュースレター2010年冬号夏号(21・22号) 発刊
- 7) 5年前のWS(解離)講演録  
二瓶社(キャロル・フォーガッシュ) 交渉出版準備中
- 8) 学会誌発刊  
EMDR研究 第3巻(2011.5.30 星和書店) 発刊
- 9) 学会認定 EMDR 臨床家資格認定(HP 参照)  
臨床資格認定者(これまでに2名認定、随時受付)
- 10) ホームページによる情報発信  
治療者リストの掲載・論文著書・学会予告等情報発信
- 11) メールングリストによる情報交換  
随時
- 12) クライアントへの治療者の紹介  
治療者リストの掲載(整備が必要)
- 13) 名簿の更新  
印刷、配布(2011.4)
- 14) 役員選挙  
新理事体制確立 学術大会にて表明(2011.5.18)

## 監査報告書

平成24年5月9日

日本EMDR学会

理事長 市井雅哉 様

赤井会計事務所

赤井義宏



私は、日本EMDR学会の平成23年度（平成22年10月1日から平成23年9月30日まで）の計算書類、すなわち、資金収支計算書、項目別収支計算書及び貸借対照表について監査を行いました。この計算書類の作成責任は理事長にあり、私の責任は独立の立場から計算書類に対する意見を表明することにあります。

私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行いました。監査は試査を基礎として行われ、監査の結果として意見表明のための合理的な基礎を得たと判断しております。

私は、上記の計算書類が、日本EMDR学会の平成23年9月30日をもって終了する会計年度の経営の状況及び同日現在の財政状態すべての主要な点において適正に表示しているものと認めます。

以 上

## 平成23年度資金収支計算書

平成22年10月 1日から

平成23年 9月30日まで

日本EMDR学会

(収入の部)

(単位:円)

科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
<b>1. 学会・ワークショップ</b>	( 3,375,000 )	( 4,054,500 )	( △ 679,500 )
前期繰越剰余金収入	535,000	535,000	-
ワークショップ°収入	1,200,000	1,511,000	△ 311,000
学会収入	1,200,000	1,404,000	△ 204,000
懇親会収入	240,000	333,000	△ 93,000
広告収入	200,000	271,500	△ 71,500
<b>2. 年会費</b>	( 6,100,000 )	( 4,805,983 )	( 1,294,017 )
前期繰越剰余金収入	850,000	850,000	-
年会費収入	3,500,000	3,495,000	5,000
講演録販売収入	1,750,000	-	1,750,000
マニュアル販売収入	-	423,500	△ 423,500
受取利息収入	-	2,397	△ 2,397
雑収入	-	35,086	△ 35,086
<b>3. トレーニング</b>	( 9,250,000 )	( 9,762,000 )	( △ 512,000 )
Part1参加費収入	9,000,000	9,650,000	△ 650,000
ワークショップ°収入	250,000	-	250,000
懇親会収入	-	112,000	△ 112,000
<b>4. HAP委員会</b>	( - )	( 132,262 )	( △ 132,262 )
寄付金収入	-	132,262	△ 132,262
<b>5. 源泉所得税預り金受入収入</b>	-	423,321	△ 423,321
<b>6. 参加者預り金受入収入</b>	-	42,000	△ 42,000
<b>7. 借入金収入</b>	-	443,435	△ 443,435
<b>8. 前期末前受金</b>	-	△ 3,540,000	3,540,000
当期収入合計(C)	18,725,000	16,123,501	2,601,499
前期繰越収支差額	4,844,415	4,844,415	0
収入合計(D)	23,569,415	20,967,916	2,601,499

## (支出の部)

(単位:円)

科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
<b>1. 学会・ワークショップ</b>	( 3,375,000 )	( 4,391,754 )	( △ 1,016,754 )
講師料	300,000	-	300,000
通訳料	50,000	-	50,000
翻訳料	200,000	-	200,000
アルハイト代	250,000	392,320	△ 142,320
飲み物・茶菓子	100,000	200,832	△ 100,832
懇親会費	300,000	319,648	△ 19,648
会場費	1,000,000	969,735	30,265
印刷費	700,000	1,935,009	△ 1,235,009
文具費	50,000	109,489	△ 59,489
郵送料	200,000	200,156	△ 156
弁当代	200,000	43,446	156,554
雑費	25,000	221,119	△ 196,119
<b>2. 年会費</b>	( 6,100,000 )	( 4,990,384 )	( 1,109,616 )
サーハ維持費	100,000	97,490	2,510
ニュースレター印刷費	150,000	118,620	31,380
講演録販売原価	1,750,000	-	1,750,000
学術雑誌印刷費	1,500,000	1,282,652	217,348
印刷費	500,000	764,349	△ 264,349
郵送料	500,000	436,568	63,432
運営費	500,000	824,161	△ 324,161
電話会議費	100,000	410,778	△ 310,778
地方会補助	700,000	747,269	△ 47,269
監査費	250,000	241,500	8,500
雑費	50,000	66,997	△ 16,997
<b>3. トレーニング</b>	( 9,250,000 )	( 9,382,993 )	( △ 132,993 )
講師料	1,550,000	1,242,682	307,318
ファシリテーター料	3,400,000	4,687,331	△ 1,287,331
アルハイト代	600,000	548,510	51,490
飲み物・茶菓子	150,000	203,754	△ 53,754
懇親会費	-	164,000	△ 164,000
会場費	2,100,000	1,581,030	518,970
印刷費	650,000	317,880	332,120
文具費	300,000	162,772	137,228
郵送料	450,000	437,834	12,166
雑費	50,000	37,200	12,800
<b>4. 源泉所得税預り金支払支出</b>	-	423,321	△ 423,321
当期支出合計(E)	18,725,000	19,188,452	△ 463,452
当期収支差額(C-E)	0	△ 3,064,951	3,064,951
次期繰越収支差額(D-E)	4,844,415	1,779,464	3,064,951

## 項目別収支計算書

平成22年10月 1日から  
平成23年 9月30日まで

日本EMDR学会

### (1)学会・ワークショップ

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)	科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
講師料	300,000	-	300,000	前期繰越剰余金収入	535,000	535,000	-
通訳料	50,000	-	50,000	ワークショップ収入	1,200,000	1,511,000	△ 311,000
翻訳料	200,000	-	200,000	学会収入	1,200,000	1,404,000	△ 204,000
アルハイト代	250,000	392,320	△ 142,320	懇親会収入	240,000	333,000	△ 93,000
飲み物・茶菓子	100,000	200,832	△ 100,832	広告収入	200,000	271,500	△ 71,500
懇親会費	300,000	319,648	△ 19,648				
会場費	1,000,000	969,735	30,265				
印刷費	700,000	1,935,009	△ 1,235,009				
文具費	50,000	109,489	△ 59,489				
郵送料	200,000	200,156	△ 156				
弁当代	200,000	43,446	156,554				
雑費	25,000	221,119	△ 196,119				
学会・ワークショップ剰余金	-	△ 337,254	337,254				
合計	3,375,000	4,054,500	△ 679,500	合計	3,375,000	4,054,500	△ 679,500

### (2)年会費

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)	科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
サーハ維持費	100,000	97,490	2,510	前期繰越剰余金収入	850,000	850,000	-
ニューズレター印刷費	150,000	118,620	31,380	年会費収入	3,500,000	3,495,000	5,000
講演録販売原価	1,750,000	-	1,750,000	講演録販売収入	1,750,000	-	1,750,000
学術雑誌印刷費	1,500,000	1,282,652	217,348	マニュアル販売収入	-	423,500	△ 423,500
印刷費	500,000	764,349	△ 264,349	受取利息収入	-	2,397	△ 2,397
郵送料	500,000	436,568	63,432	雑収入	-	35,086	△ 35,086
運営費	500,000	824,161	△ 324,161				
電話会議費	100,000	410,778	△ 310,778				
地方会補助	700,000	747,269	△ 47,269				
監査費	250,000	241,500	8,500				
雑費	50,000	66,997	△ 16,997				
年会費剰余金	-	△ 184,401	184,401				
合計	6,100,000	4,805,983	1,294,017	合計	6,100,000	4,805,983	1,294,017

## (3)トレーニング

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)	科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
講師料	1,550,000	1,242,682	307,318	Part1参加費収入	9,000,000	9,650,000	△ 650,000
ファシリテーター料	3,400,000	4,687,331	△ 1,287,331	ワークショップ収入	250,000	-	250,000
アルハイト代	600,000	548,510	51,490	懇親会収入	-	112,000	△ 112,000
飲み物・茶菓子	150,000	203,754	△ 53,754				
懇親会費	-	164,000	△ 164,000				
会場費	2,100,000	1,581,030	518,970				
印刷費	650,000	317,880	332,120				
文具費	300,000	162,772	137,228				
郵送料	450,000	437,834	12,166				
雑費	50,000	37,200	12,800				
トレーニング'剰余金	-	379,007	△ 379,007				
合計	9,250,000	9,762,000	△ 512,000	合計	9,250,000	9,762,000	△ 512,000

## (4)HAP委員会

(単位:円)

支出の部				収入の部			
科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)	科目	予算(A)	決算(B)	差額(A-B)
HAP 剰余金	-	132,262	△ 132,262	寄付金収入	-	132,262	△ 132,262
合計	0	132,262	△ 132,262	合計	0	132,262	△ 132,262



貸借対照表

平成23年9月30日現在

日本EMDR学会

(単位:円)

科目	金額	科目	金額
1. 現金	12,053	1. 借入金	443,435
2. 預貯金	1,767,411	2. 預り金	42,000
		3. 剰余金	1,294,029
		前期繰越剰余金	1,304,415
		学会・ワークショップ剰余金	△ 337,254
		年会費剰余金	△ 184,401
		トレーニング剰余金	379,007
		HAP 剰余金	132,262
合計	1,779,464	合計	1,779,464

財産目録

平成23年9月30日現在

日本EMDR学会

(単位:円)

資産の部			
科目		金額	
1. 預貯金			
ゆうちょ通常貯金	#17050-10506481	873,039	
ゆうちょ振替貯金	#01760-4-38541	100,760	
三井住友/六甲	#4177526	407,676	
三井住友/大泉	#0625209	253,674	
三井住友/六甲	#4370439	132,262	1,767,411
2. 現金		12,053	12,053
合計			<u>1,779,464</u>
負債の部			
科目		金額	
1. 借入金			
市井雅哉		443,435	443,435
2. 預り金			
参加者預り金		42,000	42,000
合計			<u>485,435</u>

平成24年5月3日

日本 EMDR 学会理事長殿

日本 EMDR 学会 監事 杉山登志郎  
原田 憲明

監査報告

私は、日本 EMDR 学会の平成23年度（平成22年10月1日から平成23年9月30日まで）の決算報告について監査しましたので、報告します。

記

監査のため、事業報告に照らし、会計士から提出された書類を閲覧し、適切に使用、記載されていると判断致しましたのでここに報告します。

署名 杉山登志郎 印

署名 原田 憲明 印

以上

- 1) 学術大会の開催報告  
第7回大会の開催 (三宮研修センター2012.5.18) 150名予定
- 2) 研修会の開催報告及び今後の計画  
Part2 トレーニング仙台 ハーネル仙台 (2011.11.21-23) 63名実績  
Part1 トレーニング神戸 三宮研修センター(2012.3.2-4) 72名実績  
Part2 トレーニング東京 飯田橋レインボービル(2012.8.3-5) 60名予定  
————— (以下は次年度分) —————  
Part1 トレーニング東京 飯田橋レインボービル (2012.10.12-14) 80名予定  
Part1 トレーニング神戸 会場未定 (2013.2-3) 80名予定
- 3) 継続研修会の開催報告及び計画  
震災WS開催 (2011.11.20) 仙台青葉カルチャーセンター 19名実績  
子どものWS開催 (2012.5.19-20) 120名 予定
- 4) 地方研究会の補助  
現在中止
- 5) 研修会の認定について  
EMDR Instituteのトレーニング  
EMDRIA 認定トレーナー市井によるトレーニング (大学院コース)
- 6) ニュースレターの発刊について  
電子媒体(必要により紙媒体)による発刊に変更(こころの臨床アラカルト休刊)
- 7) 5年前のWS(解離)講演録  
二瓶社(キャロル・フォーガッシュ)交渉出版準備中
- 8) 学会誌発刊  
EMDR研究 第4巻(星和書店)発刊
- 9) 学会認定EMDR臨床家資格認定(HP参照)  
臨床資格認定者(これまでに2名認定、随時受付)
- 10) ホームページによる情報発信  
治療者リストの掲載、論文著書・学会予告等情報発信  
電話、Fax、メールでの対応
- 11) メールリングリストによる情報交換  
随時
- 12) クライアントへの治療者の紹介  
治療者リストの掲載(整備が必要)

## 平成24年度項目別収支予算書

平成23年10月 1日から  
平成24年 9月30日まで

日本EMDR学会

## (1)学会・ワークショップ

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
講師料	800,000	ワークショップ°収入	3,638,000
通訳料	300,000	学会収入	1,200,000
翻訳料	200,000	懇親会収入	200,000
アルハ°イト代	400,000		
飲み物・茶菓子	200,000		
懇親会費	300,000		
会場費	1,000,000		
印刷費	1,200,000		
文具費	108,000		
郵送料	200,000		
弁当代	130,000		
雑費	200,000		
合計	5,038,000	合計	5,038,000

## (2)年会費

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
サーハ°維持費	100,000	前期繰越剰余金収入	200,000
講演録販売原価	1,750,000	年会費収入	3,500,000
学術雑誌印刷費	1,500,000	講演録販売収入	1,750,000
印刷費	400,000		
郵送料	300,000		
運営費	800,000		
電話会議費	250,000		
監査費	250,000		
雑費	100,000		
合計	5,450,000	合計	5,450,000

## (3)トレーニング

(単位:円)

支出の部		収入の部	
科目	金額	科目	金額
講師料	1,300,000	Part1参加費収入	3,600,000
ファシリテーター料	4,500,000	Part2参加費収入	6,150,000
アルハイト代	600,000	懇親会収入	240,000
懇親会費	270,000		
飲み物・茶菓子	170,000		
会場費	1,900,000		
印刷費	500,000		
文具費	250,000		
郵送料	400,000		
雑費	100,000		
合計	9,990,000	合計	9,990,000

## JEMDRA-HAP 委員会



# JEMDRA HAP

Humanitarian Assistance Programs

Japan EMDR Association- Humanitarian Assistance Program (JEMDRA-HAP, J-HAP)とは日本 EMDR 学会内の人道支援プログラムを担当する委員会です。アメリカ合衆国に本部を置く、EMDR 人道支援プログラム (EMDR-HAP)を始め、EMDR 有資格者により各国で組織された HAP (EMDR 人道支援プログラム)と呼応・連携し、支援活動を展開しています。

### JEMDRA-HAP のなりたち

2011年3月11日に発生した東日本大震災を受け、東日本大震災そして福島原子力発電所の事故で被災された方々の苦しみを少しでも軽減し、明日を生き抜くための直接的・間接的な支援を行うことを目標として、同年5月13日 EMDR 学会第六回学術大会(東京)の総会で決議され、設立されました。

EMDR 人道支援プログラム (EMDR-HAP)、イスラエル EMDR 学会人道支援プログラム (ISRAEL-HAP)、メキシコ EMDR 学会人道支援プログラム (Mexico-HAP)の協力を得て、設立翌日から 250 人の日本人セラピストが緊急時の被災者への対応訓練を受けその活動を開始しました。

### 活動内容

1. 心理専門職への EMDR 研修の実施  
HAP は災害で苦しむ地域の諸機関と連携し、地元の精神保健の専門家に無料もしくは減額した料金で EMDR の研修を実施するだけでなく、継続的な支援を通じて被災地域での EMDR の担い手となるセラピストを養成します。
2. 被災地域での災害支援活動に携わり2次的なトラウマを受けた医療従事者、自衛官、消防士、警察官、公務員等に緊急的な治療を施し症状を緩和・軽減させるため EMDR セラピストを被災地域へ派遣します。
3. 災害を受けた方々の症状を緩和・軽減するために、EMDR セラピストを迅速に被災地域へ派遣します。

### 活動実績

1. 2011年5月14日:第6回日本 EMDR 学会大会において人道支援プログラムの設立を決議。東日本大震災被災地域からの大会参加者の参加費を無償とする(東京都)。
2. 2011年5月15日:災害緊急支援時の心理的支援活動の心得(プロトコル)、過去の災害支援での経験を基に作成された研修資料やビデオを活用した緊急学習会の実施。東日本大震災被災地域からの学習会参加者の参加費を無償とする(東京都)。
3. 2011年5月30日~6月3日、市井雅哉および大塚美菜子による個別臨床の実施(宮城県仙台市)。